

Fiery Command WorkStation 6.8

Fiery Command WorkStation Package 6.8の新
機能ガイド



目次

Fiery Command WorkStation Package 6.8の新機能ガイド	1
Fiery Command WorkStationの概要	3
Fiery Command WorkStation Package 6.8.....	3
Fiery Software ManagerのFieryワークフローソフトウェア	4
Fiery Command WorkStation Packageの仕様	5
新機能の概要.....	6
生産性.....	7
プリセット設定のオプション.....	7
Command WorkStationのユーザビリティの改善	10
カラーとイメージング	12
Fiery ImageViewerの改良	12
Fiery Spot Proの拡張機能	14
管理	16
カスタマイズ可能なサーバー一覧.....	17
Paper Catalogのお気に入り.....	18
印刷の残り時間.....	18
メイクレディマルタスク処理のパフォーマンス 環境設定	19
接続	20
EFI IQクラウドサービスの統合	20
変更または削除された機能	22
簡易なFiery Preview	22
その他のリソース	23

EFI™はアナログからデジタルイメージングへの変換で世界を牽引する、グローバルテクノロジー企業です。看板、梱包、テキスタイル、セラミックタイル、建材、商業印刷およびパーソナライズした書類をさまざまなプリンター、インク、デジタルフロントエンド、ワークフローソフトウェアで製造するために、製品、ソリューション、サービス、および世界トップクラスのパートナーシップのスケラブルなポートフォリオを活用して、EFIはお客様のビジネスの成長を推進することに情熱を注いでいます。EFIの製品やサービスを組み合わせて、ジョブを重ねるごとにそして年々、利益を増やし、コストを削減し、生産性を向上させ、効率を最適化できます。詳細は、www.efi.comをご覧ください。

ここに記載される内容は、EFIの製品とサービスに付属して明示された保証書に追加する保証にはなりません。

ColorGuard, ColorRight, Command WorkStation, ColorWise, EFI, EFIのロゴ, Electronics For Imaging, EFI Fiery, Fiery, Fieryのロゴ, Fiery Compose, Fiery Driven, Fiery Drivenのロゴ, Fiery Edge, Fiery Essential, Fiery HyperRIP, Fiery Impose, Fiery Impress, Fiery ImageViewer, Fiery Intensify, Fiery JobExpert, Fiery JobFlow, Fiery JobMaster, Fiery Prep-it, Fiery Prints, Fiery Printsのロゴ, Fiery TrueBrand, FreeForm, MicroPress, IQ, PrintMe, RIPChips, RIP-While-Print, Spot-On, Spot ProおよびWebToolsは、Electronics For Imaging, Inc. およびまたは米国その他の国における完全所有子会社の商標および登録商標です。その他の用語や製品名は各社の商標や登録商標である可能性があります。

Fieri Command WorkStationの概要

Fieriサーバーの印刷ジョブ管理インターフェイスであるFieri® Command WorkStation®は、印刷の生産性と性能を向上させます。また、ジョブの管理を一元化し、ネットワーク上のすべてのFieriサーバーに接続して、生産性を高めます。直観的なインターフェイスのため、ユーザーのエクスペリエンスレベルに関係なく、ジョブ管理が簡単になります。

Apple® macOS®とMicrosoft® Windows®のクロスプラットフォームをフルサポートし、複数のコンピューティングプラットフォームで一貫した外観、操作性、同一の機能を提供します。Fieriサーバーへのリモート接続は不足する機能がないため、ローカル接続の場合と同等のサーバー管理を実施できます。Fieri Command WorkStation 6.8は、FS150/FS150 Pro以上、Fieri Central 2.9以上、およびFieri XF 7以上を実行しているFieriサーバーをサポートします。



Fieri Command WorkStationバージョン6.8はwww.efi.com/CWSからダウンロードしてください。

高速インクジェットプリンターをお使いの場合、使用可能な最新バージョンのFieri Command WorkStationにアップグレードする方法については、ご使用のプリンターメーカーにお問い合わせください。

Fieri Command WorkStation Package 6.8

Fieri Command WorkStation 6.8は、Fieri Command WorkStation Packageに含まれています。このパッケージのダウンロードおよびインストールは、Fieri Software Managerによって処理されます。

パッケージには、次のものが含まれます。

Fieri Command WorkStation

ネットワーク上のFieri Driven™カット紙、ワイド、スーパーワイド、高速インクジェットプリンターを制御することでジョブ管理を一元化し、リアルタイムの生産性を向上させます。

Fieri Command WorkStation Package 6.8にはカット紙プリンターユーザー向けのオプションのメ이크レディソフトウェアとして、Fieri Impose、Fieri ComposeおよびFieri JobMaster™が含まれます。プリプレスソフトウェアオプションには、Fieri Graphic Arts Package, Premium Edition、Fieri Graphic Arts Pro Package¹、Fieri ColorRight Package¹、Fieri Automation Package¹、およびFieri Productivity Packageが含まれています。

Fieri Hot Folders – カット紙および高速インクジェットのみ

カット紙プリンターでのジョブ送信プロセス中の反復作業を自動化することで時間の節約となり、簡単なドラッグアンドドロップ操作で印刷エラーを削減できます。

Fieri Hot Foldersはカット紙プリンター対応の一部Fieriサーバー向けのオプション機能です。お使いのFieriの仕様を確認し、Fieri Hot Foldersが標準構成の一部かどうかをチェックしてください。¹Fieri FS400/FS400 Proサーバー以上でのみ使用可能です。

Fiery Software Uninstaller (macOSのみ)

macOS版クライアント上でFieryアプリケーション (Fiery Command WorkStation Package、Fiery Color Profiler Suite、Fiery Remote Scan、Fiery FreeForm™ Create™、EFI ColorGuardデスクトップ、EFI™ Cloud Connector) やプリンター、関連する印刷ドライバーまたはファイルを容易に削除できます。

Fiery Software ManagerのFieryワークフローソフトウェア

Command WorkStation Packageに加え、Fiery Software Managerで次のFieryアプリケーションを容易にインストールすることもできます。

Fiery FreeForm Create (カット紙および高速インクジェット)

Fiery FreeForm VDPテクノロジーを使用すると、パーソナライズされたジョブを作成できます。テキスト、画像、バーコードなどのバリエーション要素を既存のファイルに容易に追加できます。

Fiery Remote Scan (カット紙のみ)

このアプリケーションを使用すると、スキャンジョブを取得したり、サポートされているFieryサーバー上のスキャンメールボックスとユーザーのデスクトップコンピューターを自動的に同期させることができます。

Fiery JobFlow (Windowsのみ)

Fiery JobFlow™ではプリプレスワークフローの自動化が可能になっており、ジョブの処理と印刷を効率化できます。無料版のFiery JobFlow BaseではPDF変換、Fiery Preflight¹、高品位イメージ画像処理²、書類の面付け³を含むワークフローを管理することができるほか、ジョブの送信、アーカイブ、出力のための柔軟なオプションも用意されています。有料版のFiery JobFlowにアップグレードすると、ルールベースのワークフロー、Enfocus PitStopによる高度なプリフライトおよびPDF編集、効率を最大限に高めるクラウドベースのJobFlow承認プロセスによって、インテリジェンスがさらに向上します。

Fiery Color Profiler Suite

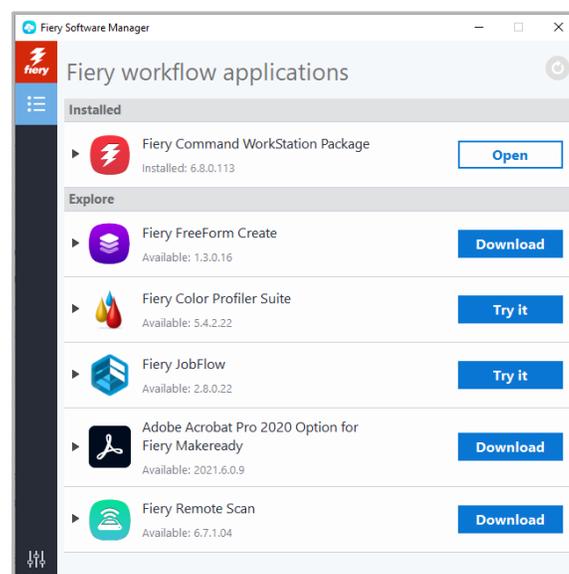
本ソフトウェアは、印刷システムの統合されたカラー管理機能と品質管理を実現します。プロファイルの作成、検査、編集やカラー品質の保証を行う高度なカラー管理ツールで、Fiery Drivenプリンターのカラー機能を拡張します。モジュラー機能ではデザインから印刷プロダクション、オフィスアプリケーションにわたり、あらゆる種類の素材でカラーの精度と一貫性を保証することから、生産性と費用対効果が向上します。

Adobe Acrobat Proキット

Fiery Impose、Compose、およびJobMasterメイクレディアアプリケーションをAdobe® Acrobat® Proと一緒に使用するには、アクティベートしたライセンスが同じコンピューターにインストールされていなければなりません。Fiery Command WorkStationバージョン6.5.0.292以降では、Adobe Acrobat DCの独自のソフトウェアサブスクリプションとFieryメイクレディアアプリケーションを一緒に使用できます。または、Fiery販売店やEFI™ [eStore](#)からEFI Adobe Acrobat Proソフトウェアオプションキットを購入し、Fiery Command WorkStation 6.7以降と一緒に使用できます。

Fiery Integration Package (Windowsクライアントのみ、カット紙の場合)

Fiery Integration Packageには、Fiery JDFとFiery APIが付属しています。これは、WindowsおよびLinuxベースのFieryサーバーをアップデートできるWindowsアプリケーションです。Fiery Software Managerの環境設定で「追加機能の表示」を選択して、Fiery Integration Packageを確認しダウンロードする必要があります。



Fiery Software Manager

¹ Fiery Graphic Arts Package, Premium Edition、Fiery Graphic Arts Pro PackageまたはFiery Automation Packageが必要です。外部FS500 Proサーバーでは標準です。

² Fiery Image Enhance Visual Editorが必要

³ Fiery Imposeが必要

Fiery Command WorkStation Packageの仕様

Fiery Command WorkStation 6.8とFiery Hot Foldersは、次にあげるものに接続できます。

次にあげるFiery Systemソフトウェアを搭載したFieryサーバー:

- FS150/FS150 Pro、FS200/FS200 Pro、FS300/FS300 Pro、FS350/350 Pro、FS400/FS400 Pro、FS500/FS500 Pro
- Fiery Central 2.9以上
- Fiery XF 7以上

クライアントコンピューターの場合のFiery Command WorkStationおよびFiery Hot Foldersインストール要件:

macOSクライアント:

- macOS 10.14以降
- 4 GB以上のRAM (推奨)
- 7GBのハードドライブ空き容量
- 最小ディスプレイ解像度:
 - o カット紙をお使いの場合: 1280 x 1024
 - o ワイドフォーマットおよびスーパーワイドフォーマットをお使いの場合: 1600 x 900

Windowsクライアント:

- Microsoft Windows 10、64ビット以降
- Microsoft Windows Server 2016、64ビット
- Microsoft Windows Server 2019および2022
- Intel® Core™ i3プロセッサ以上
- 4 GB以上のRAM
- 16 GBのハードドライブ空き容量
- 最小ディスプレイ解像度:
 - o カット紙をお使いの場合: 1280 x 1024
 - o ワイドフォーマットおよびスーパーワイドフォーマットをお使いの場合: 1600 x 900

旧バージョンのFiery systemソフトウェアに接続するには、Fiery Command WorkStation 5.8 (Fiery System 9用)、6.4 (Fiery System 10)、または6.5 (S100/100 Pro用)をインストールする必要があります。Fiery Command WorkStationの旧バージョンは、[こちら](#)で確認できます。

バージョン6.xからバージョン5.8にダウングレードする方法については、<http://fiery.efi.com/cws58-reinstall-help>を参照してください。

新機能の概要

新しい価値をFieryユーザーに届けるという伝統に倣い、バージョン6.8は、生産性、カラー&イメージング、管理、接続など、Fieryのすべての技術革新分野で多数の新機能を提供します。

このリリースで提供される新機能：

- 印刷用ファイルをすばやく柔軟にセットアップ
- 一度で正確なスポットカラーと画像を簡単に取得
- 仕事とサーバーの管理をより良くするための様々な機能
- EFI IQ™クラウドサービスによる新機能

Fiery Command WorkStation Package 6.8の新機能

生産性	カラーとイメージング	管理	接続
<ul style="list-style-type: none"> - 選択肢があるプリセット設定 - Command WorkStationとジョブのプロパティの機能強化 <ul style="list-style-type: none"> • *ジョブのキャンセルが簡単に • *サーバーIPアドレスの可視化 • *ジョブ名を迅速に編集 • 拡張された出力プロファイル名 	<ul style="list-style-type: none"> - Fiery ImageViewer¹ <ul style="list-style-type: none"> • 画像領域の表示 • ルーラーのガイドライン • ユーザビリティの改善 - Fiery Spot Pro² <ul style="list-style-type: none"> • Fiery Edgeスポットカラー処理 • スウォッチブックでのデルタE測定値の表示 	<ul style="list-style-type: none"> - *カスタマイズ可能なサーバー一覧 - Paper Catalogのお気に入り - 印刷の残り時間 - メイクレディマルチタスク処理のパフォーマンス環境設定 	<ul style="list-style-type: none"> - *EFI IQクラウドサービスの統合

*カット紙、ワイドおよびスーパーワイド、高速インクジェットを含む、Fiery Command WorkStationの全ユーザー向けの機能。高速インクジェット機能は、プリンターごとに異なる場合があります。ご注意ください。

注意：機能はプリントエンジンのモデルによって異なります。利用できる機能を確認するには、各製品のデータシート、または機能の表を参照してください。

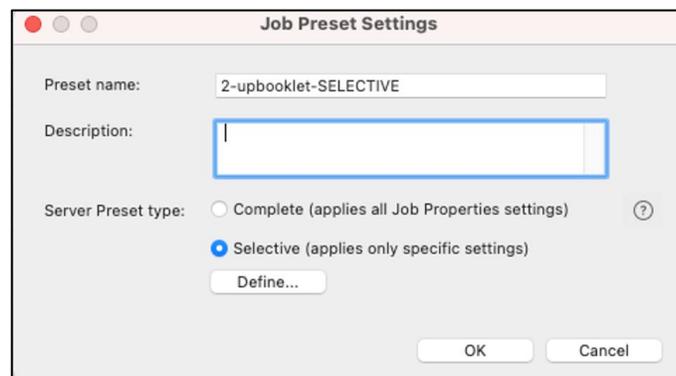
¹Fiery Graphic Artsパッケージ、Premium Edition、Fiery Graphic Arts Pro Package、Fiery ColorRight Package、およびFiery Productivity Packageに含まれています。

²Fiery Graphic Arts Package, Premium Edition、Fiery Graphic Arts Pro Package、およびFiery ColorRight Packageに含まれていません

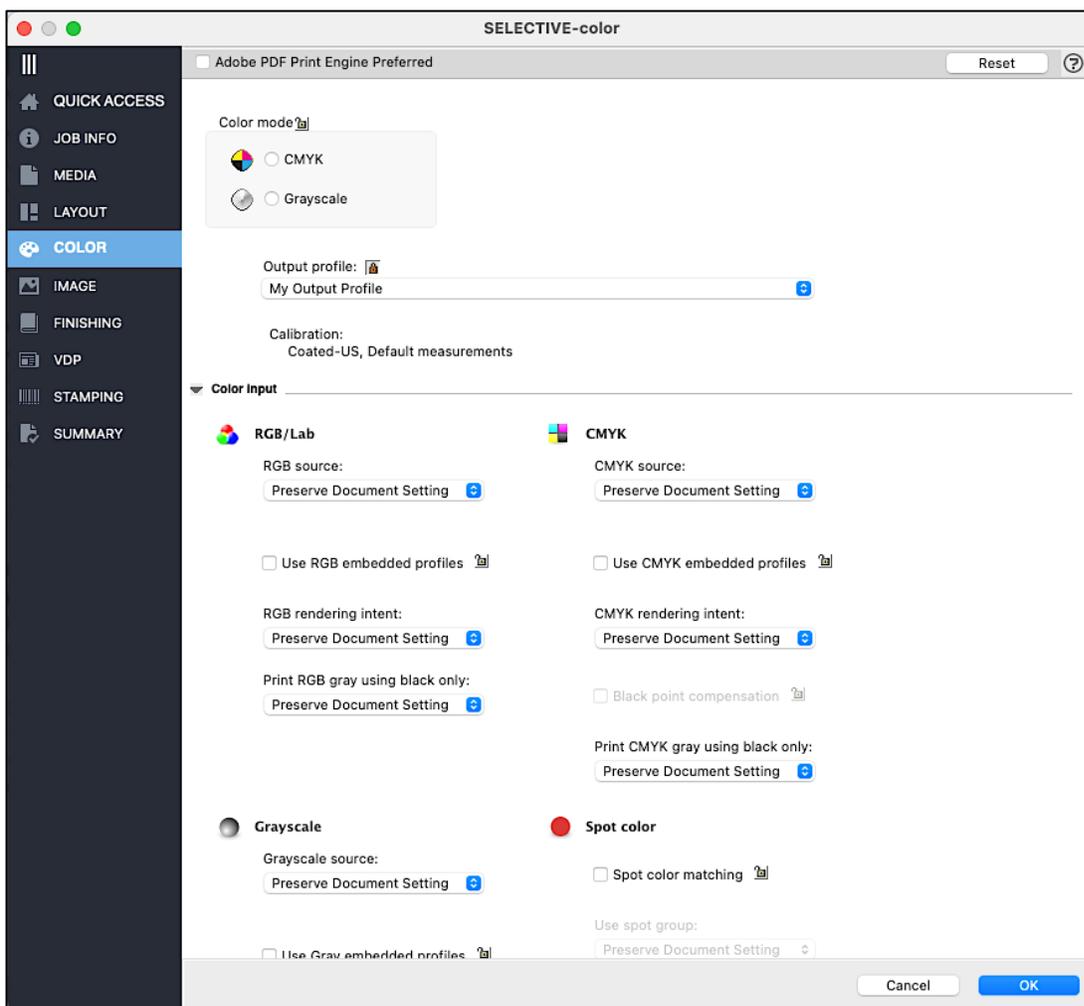
生産性

プリセット設定のオプション

Fieryのジョブプリセットは、これまで以上に柔軟に使えるようになりました。新タイプのサーバープリセットであるカスタムプリセット設定は、特定のジョブ設定のみを含むことから、適用時に既存設定が変更されることがありません。つまり、ユーザーは限られた「よく使う」ジョブの設定を既存設定に加えて適用できるので、柔軟性が高まり、ジョブに必要な設定を簡単に適用するにあたり必要なプリセットの全体数を減らすことができます。

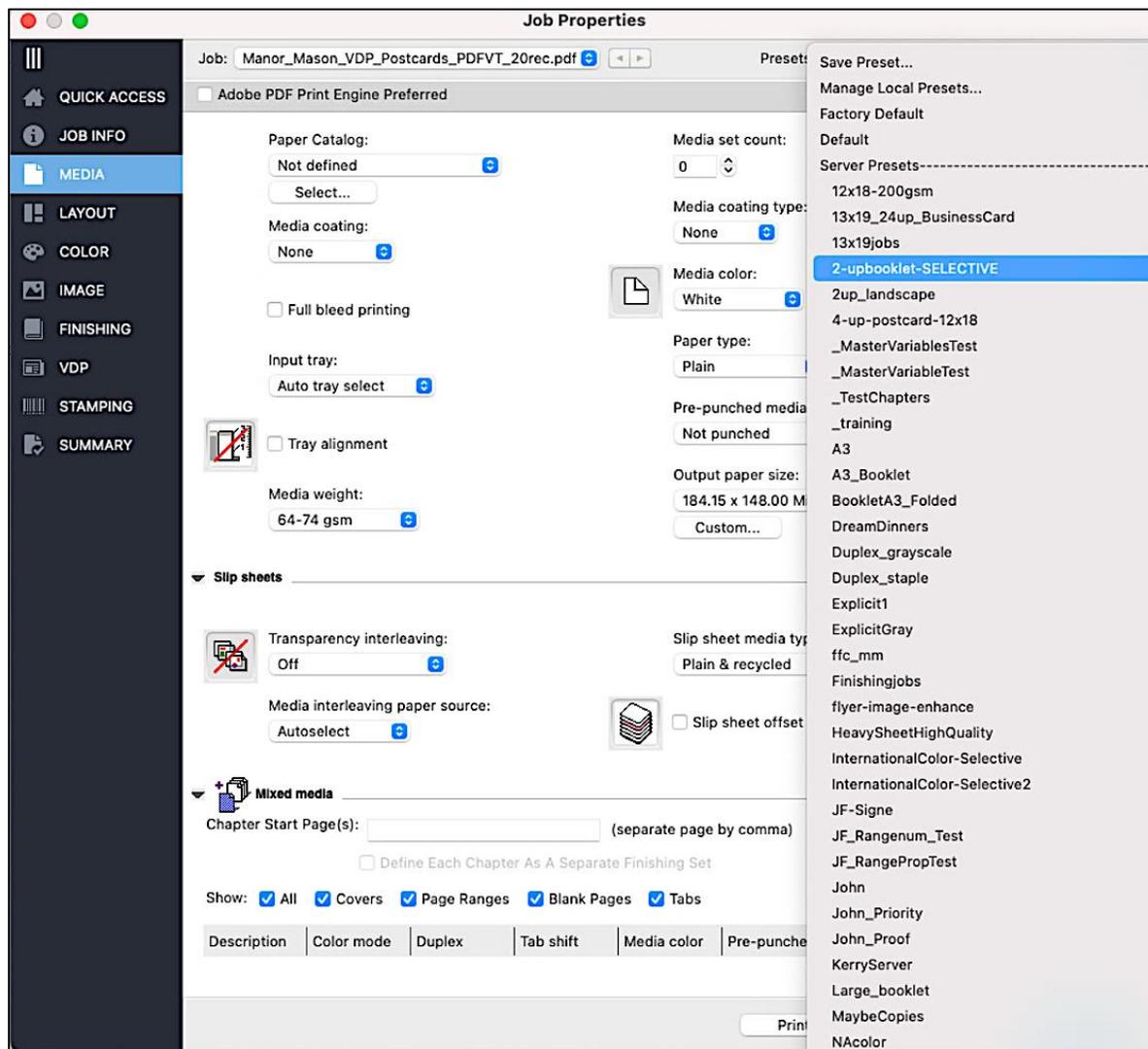


2つのサーバープリセットタイプが選択可能なプリセット作成ダイアログボックス



プリセットのオプションの一部として定義されている特定のカラー設定

プリセットのオプションが柔軟であるといういい例が、面付けの設定や色の設定のみを変更する必要があるときです。ここで使用するプリセットのオプションは特定の設定のみを変更しますが、その他の設定は変更しません。さらに、ユーザーは、同じジョブに対して複数のプリセットのオプションを適用することができることから、より柔軟な



既存の設定を保持する必要があるジョブに追加されるプリセットのオプション

対応が可能です。

詳細については、[ビデオをご覧ください](#)。

Command WorkStationのユーザビリティの改善

容易なジョブのキャンセル

ジョブの処理中や印刷中はいつでもキャンセルボタンが表示されているので、ユーザーはより迅速に作業を中止できます。

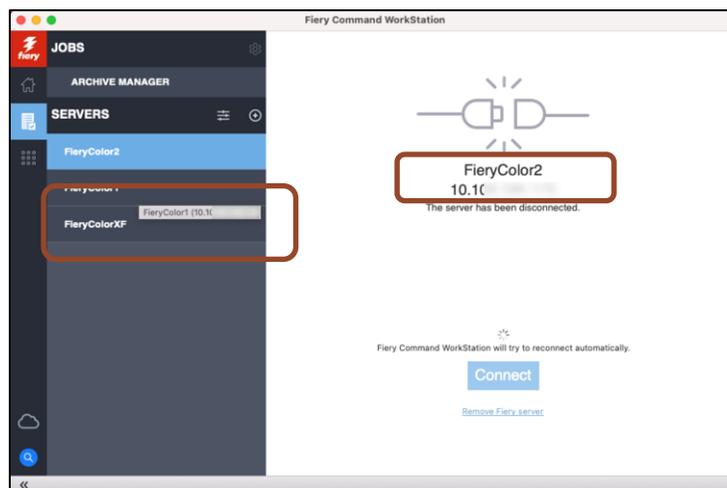


処理中および印刷中のジョブに対するキャンセルボタンの固定

サーバーIPアドレスの可視化

Command WorkStation 6.8 では、ユーザーがサーバー一覧の名前にマウスを置いたときに、Fiery サーバーの IP アドレスが表示されます。IPアドレスは、サーバーの接続時および切断時のどちらでも表示されます。これにより、デバイスセンターやサーバーマネージャーでサーバーのIPアドレスを調べる手間が省けます。

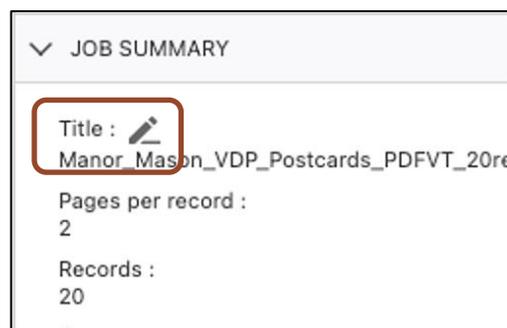
Command WorkStationのメインウィンドウに切断されたサーバーのIPアドレスを表示することで、そのサーバーの再接続やトラブルシューティングを容易に行うことができます。



マウスオーバーで、サーバー一覧および切断されたサーバーのメインウィンドウに表示されるIPアドレス

ジョブ名の迅速な編集

ユーザーは、ジョブ概要ウィンドウで、長めのジョブ名をより簡単に編集できるようになりました。ジョブ名やその他のフィールドの編集は、右にスクロールして編集ボタンを探さずに行えるので、利便性が高く、ジョブ管理をスピードアップします。



拡張された出力プロファイル名

ジョブのプロパティで、ユーザーは新たに拡張したプロファイルプルダウンメニューのカラーおよびクイックアクセスのセクションで出力プロファイル名をすべて確認できます。長めの記述名が表示されることで、オペレーターはより簡単に、より速く正しいプロファイルを選択することができます。

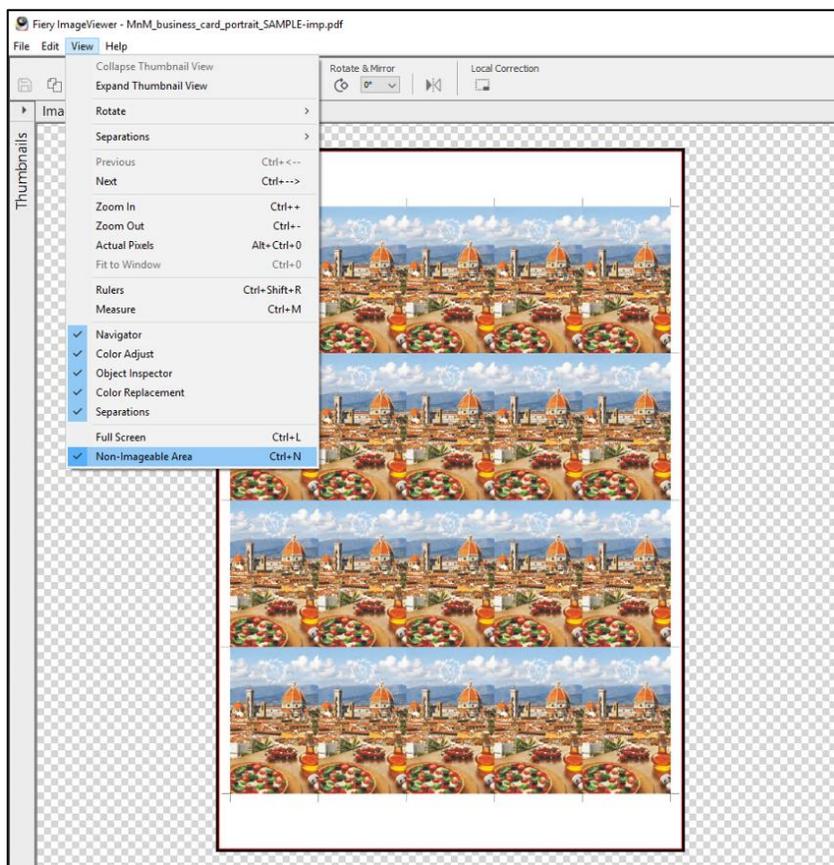


カラーとイメージング

Fiery ImageViewerの改良

画像領域の表示

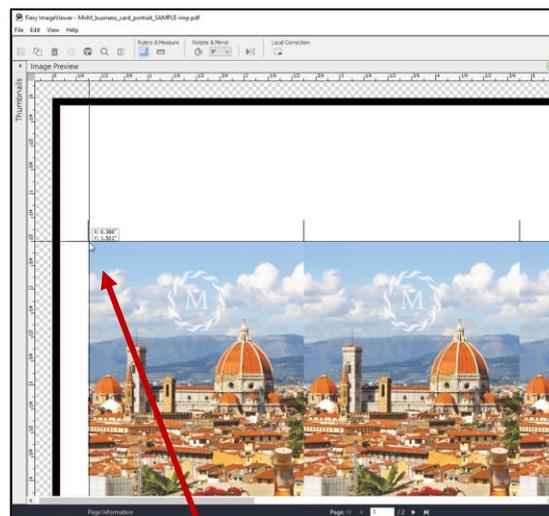
ユーザーは、シート上の画像領域を確認できるようになりました。これにより、すべての内容が画像領域に印刷され、仕上げ処理で内容に影響がないことを確認することができます。印刷前にこのプレビューを見ることで、無駄な印刷を減らし、修正を最小限に抑えることができます。



Fiery ImageViewerでシートの画像領域を表示できるようになりました。上図のスクリーンショット内のレッドラインは画像領域の輪郭線を示し、非画像領域はブラックでハイライトされています。

ルーラーのガイドライン

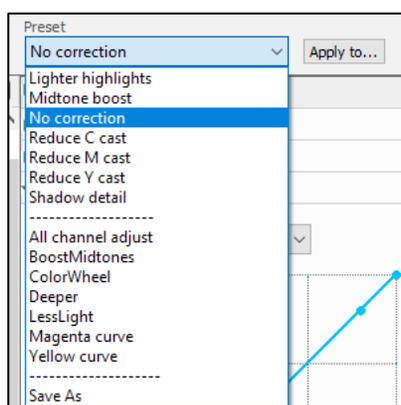
ルーラーツールに、ページオブジェクトがページ上の意図した位置に並ぶようにガイドラインを使用できる機能が追加されました。ユーザーは、ウィンドウの隅から好きな場所に水平および垂直ガイドをドラッグできます。ガイドには、ページの端から特定の点までの距離が表示されます。



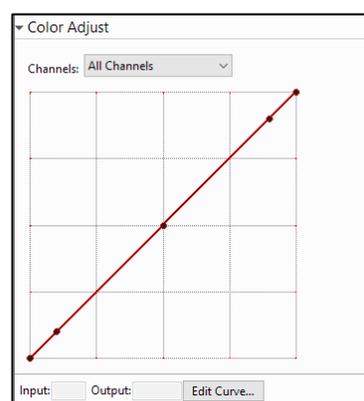
新しいルーラーガイドラインにより、ページのオブジェクトを適切な位置に配置できます。

ユーザビリティの改善

- Fiery ImageViewerのプリセットは、デフォルトとユーザー作成の両方が、ドロップダウンメニューでアルファベット順に並ぶようになりました。これにより、ユーザーは必要なプリセットをこれまでより早く見つけられます。
- すべてのチャンネルがデフォルト表示になりました。すべてのチャンネル（グローバルカーブ調整）を使用することで、ユーザーはすべてのチャンネルのカーブを同時に調整することができます。これにより、ミッドトーンカーブ、シャドウカーブ、ハイライトカーブなど、すべてのセパレーションにまたがるカーブ調整をより迅速に行うことができます。



プリセットはアルファベット順に表示されています



すべてのチャンネルがデフォルト表示です

Fiery ImageViewerのすべての新機能の詳細については、[ビデオをご覧ください](#)。

Fiery Spot Proの拡張機能

Fiery Edgeスポットカラー処理

Fiery Edge™スポットカラー処理のオプションが追加されました。この新しいテクノロジーはFiery Spot Proでのみ利用可能で、次の機能が強化されています。

- スポットカラー精度の向上、特に色域外のカラー
- CMYK+スポットカラーのレシピでのインク/トナー使用量の削減
- より鮮やかなカラーアピランスを実現するオプション
- スポットカラーのレシピでのインク/トナー使用量の削減

スポットカラー精度の機能強化

Fiery Edgeのスポットカラー処理では、CMYKプリンターの色域付近または色域外のスポットカラーでdE 2000を最大15~20%改善できます。CMYK+プリンターでは、色域付近や色域外のスポットカラーのdE値を最大40%まで改善できます。

CMYKプリンターおよびCMYK+プリンターの色域内のスポットカラーは、視覚的な変化は小さいですが、dEが改善される場合もあります。

例（dE値の改善）：

PANTONEオレンジ021 C



PANTONE 812 C

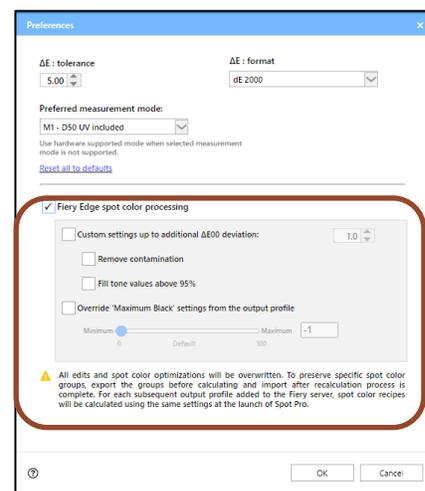


PANTONE 251 C



より鮮やかなカラーアピランス

オペレーターは、より鮮やかなカラーアピランスになるオプションを選択できます。このオプションでは、スポットカラーのレシピから、淡いカラーで顕著に見られる非常に低い値を含むカラーを除去すること（コンタミネーションの除去）で鮮やかなカラーアピランスを実現できます。または、スポットカラーのレシピで既に95%以上となっている色を100%使用すること（95%以上の色調値による塗りつぶし）で、暗いカラーや飽和カラーでの白飛びを避けることができます。



例（変更後のC、M、Y、Kの値は太字で示しています）：

PANTONEイエローC



Fieryの標準的なスポットカラー処理
レシピ:C 0.00, **M 3.93**, Y 100.00, K 0.00

Fiery Edgeの新しいスポットカラー処理
レシピ:C 0.00, **M 0.00**, Y 100.00 K 0.00

PANTONEストロングレッド



Fieryの標準的なスポットカラー処理
レシピ: **C 0.01**, M 100.00, Y 46.87, **K 3.87**

Fiery Edgeの新しいスポットカラー処理
レシピ:**C 0.00**, M 100.00, Y 46.87, **K 0.00**

スポットカラーのレシピでのインク/トナー使用量の削減

Fiery Edgeのスポットカラー処理では、特にCMYK+プリンターでインク/トナー使用量を削減できるというメリットがあります。スポットカラーのレシピが3カラー+ブラックに限定されたことで、コスト削減につながります。また、1つのエリアに6カラー以上を印刷する際に、プレスの置き方のばらつきを防ぐことによって、より安定したスポットカラーを生成し、メタメリズムの影響を防ぐこともできます。

オペレーターは、出力プロファイルからブラックの最大設定値を上書きするを選択して、グレースポットカラーのレシピでブラック以外のインク/トナー使用量をコントロールできます。これは、今もジョブのプロパティで使用できるブラックのみを使用してCMYKグレーを印刷するオプションと似ています。ただし、この機能はスポットカラーにのみ適用され、出力プロファイルで定義されている以上のグレーの画素値の構成で制御を追加することが可能です。

知っておきたい重要なこと

Fiery Edgeのスポットカラー処理は、Fiery Spot Proの環境設定で有効にできません。

一度有効にすると、それ以降のすべてのジョブで、Fieryの標準的なスポットカラー処理に置き換わります。これにより、既存のスポットカラーの編集がすべて削除されます。

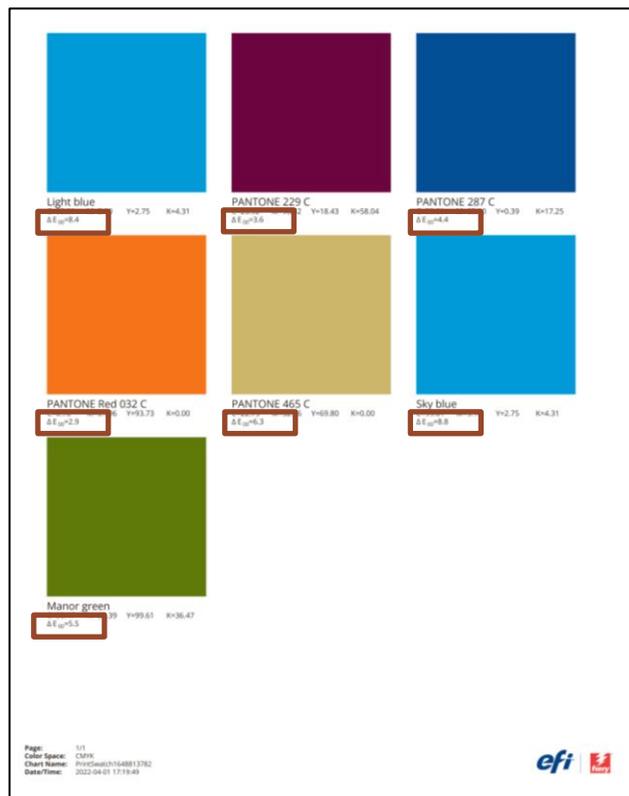


Fiery Edgeのスポットカラー処理を有効にする前に、.iccファイル形式でスポットカラーグループをバックアップすることを強くお勧めします。

そうすれば、オペレーターはいつでも、Fieryの標準的なスポットカラー処理に戻すことができます。

スウォッチブックでのデルタE測定値の表示

オペレーターは、スウォッチブックにあるカラーのdE測定値を表示するかどうかを選択できます。この機能は、スウォッチブックの印刷前に、オペレーターがスウォッチカラーの測定をするように促します。これにより、希望するメディアにどの程度の精度でブランドカラーが再現されるかをブランドオーナーに伝えることができます。



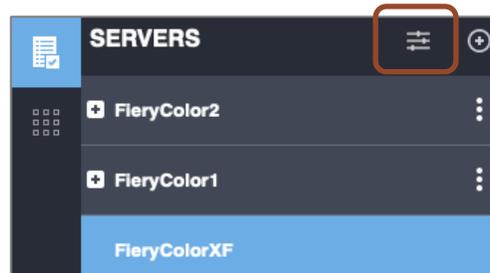
各カラーのdE測定値を表示するスウォッチブック

管理

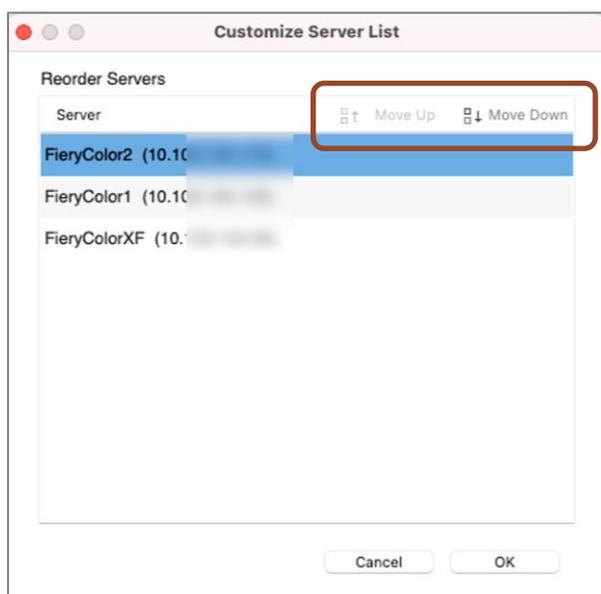
カスタマイズ可能なサーバー一覧

オペレーターは、サーバー一覧にあるFieryサーバーを、印刷ルームの要件に合わせてより論理的な順序に並び替えることができます。サーバー一覧の上部にあるスライダーバーのアイコンからアクセスできる「サーバー一覧のカスタマイズ」ダイアログで、サーバーを上下に移動させて、最も生産性の高い順番にすることができます。これにより、アルファベット順、プリンタータイプ別、あるいは印刷会社のプ

リンターの配置を反映させることができます。サーバーは接続されていなくても並び替えが可能です。



サーバー一覧アイコンのカスタマイズ



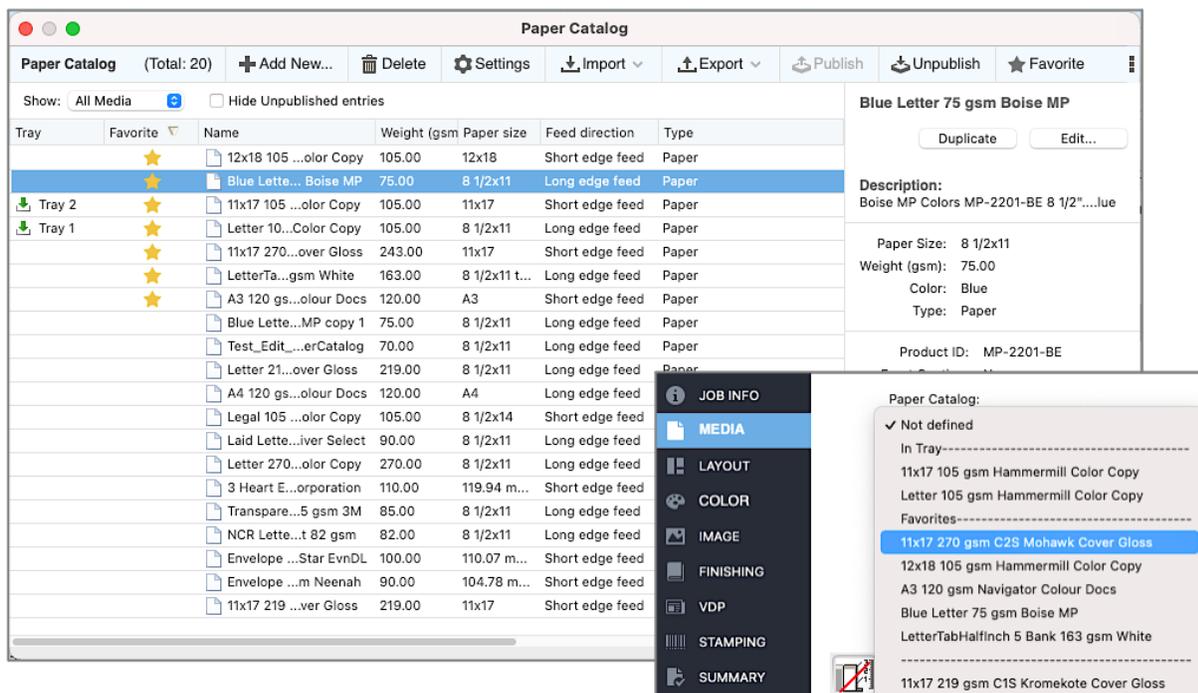
[上へ] および [下へ] ボタンのあるダイアログ

Paper Catalogのお気に入り

ジョブのプロパティで用紙の種類をより速く選択できるように、エントリを「お気に入り」としてマークできるようになりました。このことは、多くの用紙の種類を扱う印刷環境では特に有効です。

Paper Catalogダイアログボックスで、ユーザーは右クリックまたはPaper Catalogウィンドウの上部にあるボタンを使用して、この新しいタグのチェックをON・OFFできます。

ジョブのプロパティで、お気に入りは「トレイ」F項目の後に専用セクションで表示され、リストの上位近くに配置されるので、より迅速に選択することができます。



Paper Catalogダイアログボックスでのお気に入り追加後のジョブのプロパティでの選択

印刷の残り時間

印刷が開始されると、印刷が終了するまでの推定時間を表示する機能です。印刷ウィンドウの印刷プログレスバーの上に残り時間が表示され、ユーザーの生産計画に役立てることができます。これはFiery Tickerに表示される情報と同じもので、残りの秒数の詳細が追加されています。



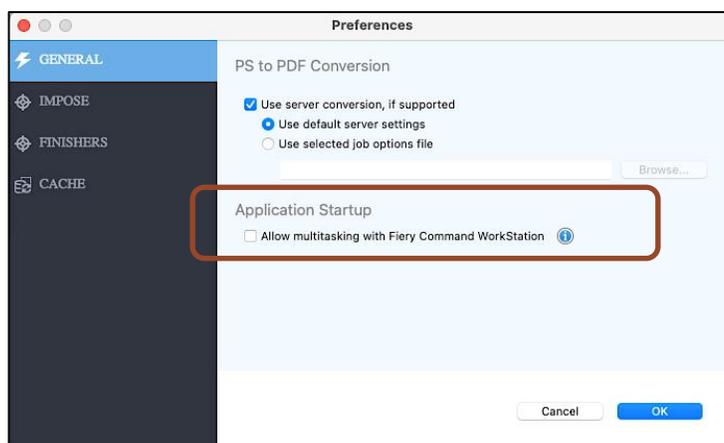
印刷の残り時間 (時 : 分 : 秒)

メイクレディマルチタスク処理のパフォーマンス 環境設定

Command WorkStationでのマルチタスクの許可の環境設定を選択すると、ユーザーは、面付けおよびメイクレディの作業中に、**Command WorkStation**ウィンドウでアクティブにジョブを管理することができます。このオプションを選択すると、**Fiery Command WorkStation**および**Fiery**のメイクレディアプリケーション（**Fiery Impose**、**Fiery Compose**、または**Fiery JobMaster**）の開いているウィンドウをアクティブに切り替えることができます。ただし、マルチタスクになると、メイクレディアプリケーションの起動やロードに要する時間が長くなる場合があります。

メイクレディアプリケーションの起動時間の短縮を優先するため、**Command WorkStation**でのマルチタスクの許可に対するこのデフォルト環境設定は**OFF**になっています。ユーザーがメイクレディ作業とジョブキューの管理をマルチタスクで行いたい場合、**Fiery Impose/Compose/JobMaster**の環境設定からこの機能を有効にすることができます。

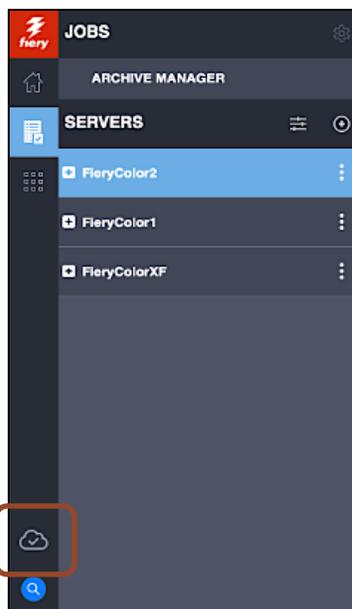
注意：この機能は**Fiery Preview**には適用されません。



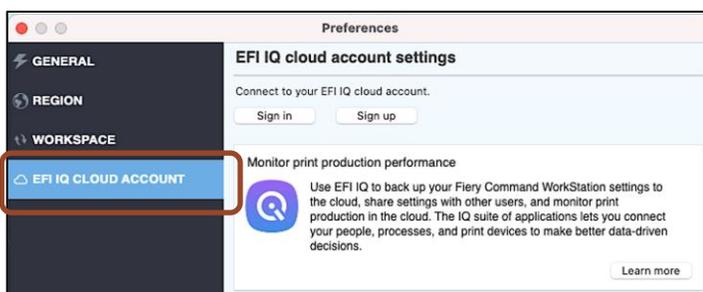
接続

EFI IQクラウドサービスの統合

Fiery Command WorkStationは、EFI™ IQ™クラウド機能を利用して、Command WorkStationの設定をバックアップおよび復元することができます。これにより、ユーザーは自分の設定をクラウドにバックアップし、同じまたは別のCommand WorkStationクライアントに容易に取り出すことができ、また他のユーザーと共有することができます。



「サインイン済み」状態を示すクラウドアイコン



EFI IQクラウド会社のアカウントの環境設定



環境設定でのクラウドのバックアップ

Command WorkStationのメインウィンドウに、EFI IQクラウドの環境設定に直接アクセスできるクラウドアイコンがあります。

- ユーザーは、会社の既存のIQアカウントを使用してのサインイン、クライアントの設定（全部または選択した設定のみ）のバックアップや復元、またはチーム内の他のユーザーとの共有ができます。

Settings that can be backed up	Cutsheet / High-speed inkjet	Fiery XF
Fiery Server List	X	X
Job Center - Columns	X	X
Job Center - Toolbar	X	X
Job Center - Saved views	X	-
Job Properties - Quick Access / Local Presets	X	-
Impose templates	X	-

Fieryサーバーの種類ごとのバックアップ可能な設定項目

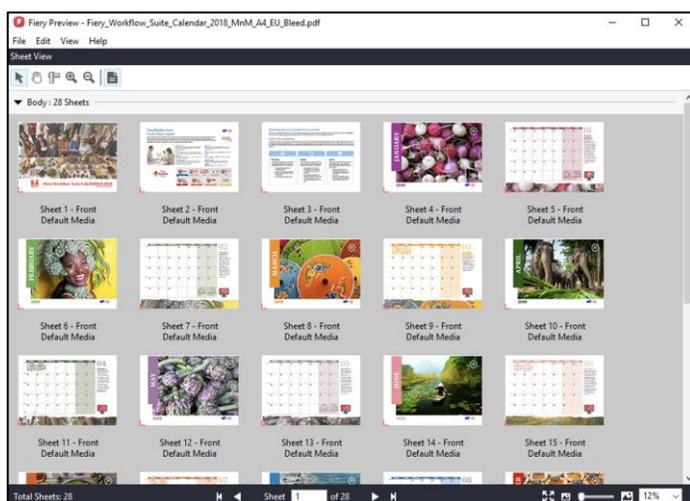
EFI IQアカウントに関する注意事項

- クラウドサービスを利用するには、すべての会社がEFI IQアカウントを取得する必要があります。
- この単一アカウントにより、すべての個人ユーザーが同じ情報やクラウドリソースにアクセスできるようになります。
- 管理者ユーザーは、個々の会社のEメールアドレスに招待を送信することで、新規ユーザーにアクセスを許可することができます。
- 会社のEFI IQアカウントは、EFI IQ管理コンソールで Fiery駆動のプリンターをオンボードすることで、EFI IQアプリケーション群にアクセスできるようになります。これにより、EFI IQ Dashboard、EFI Notify、EFI Insightのアプリで生産分析およびクラウドベースの主要生産指標の表示を可能にするプロダクションデータを収集できます。本サービスは、Fieryカット紙トナープリンターには無償、[対応するEFI製ディスプレイグラフィックスおよび高速インクジェットプリンター](#)では有償オプションとなります。詳細は、[こちらのWebページ](#)をご覧ください。

変更または削除された機能

簡易なFiery Preview

Fiery Previewアプリケーションで、RIP処理済みジョブのジョブプレビューがシートビューパネルに適切に表示されるようになりました。インターフェースでの混乱を防止するために、Fiery Impose、Compose、JobMaster（メイクレディソリューション）機能にアクセスするための追加パネルを削除しました。これらのメイクレディソリューションにアクセスするには、Fiery Previewを閉じ、ジョブを右クリックしてFieryのメイクレディアアプリケーションを選択し、該当するものを開きます。



その他のリソース

以下の営業資料、トレーニング資料、および技術資料は、Fiery Command WorkStationおよび関連する製品やアプリケーションに関する知識を広げるのに役に立ちます。

Fiery Command WorkStationのメインWebページ	efi.com/cws
Fiery Command WorkStationのダウンロード	fiery.efi.com/cws
Fiery Imposeの30日間無料トライアルの申し込み	efi.com/impose
Fiery JobMasterの30日間無料トライアルの申し込み	efi.com/jobmaster
Fiery Composeの30日間無料トライアルの申し込み	efi.com/compose
Fiery Graphic Arts Package, Premium Editionの30日間無料トライアルの申し込み（外付型のFS200 Pro/FS300 Pro/FS350 Pro Fieryサーバー）	efi.com/gappe
Fiery Graphic Arts Pro Packageの30日間の無料トライアルの申し込み（FS400 Pro以降の外付型Fieryサーバー）	efi.com/gapro
Fiery ColorRight Packageの30日間の無料トライアルの申し込み（FS400 Pro以降の組み込み型Fieryサーバー）	efi.com/colorright
Fiery Automation Packageの30日間の無料トライアルの申し込み（FS400 Pro以降の組み込み型Fieryサーバー）	efi.com/fieryautomation
Fiery JobFlowの30日間無料トライアルの申し込み	efi.com/jobflow
Fieryのメイクレディソリューション（Fiery Impose、Compose、JobMaster）の機能比較	fiery.efi.com/makeready-comparison
Fiery FreeForm Createのページ（Fiery FreeFormキットのダウンロード、製品情報とデモビデオの閲覧）	efi.com/freeformcreate
Learning@EFIのトレーニングリソース	learning.efi.com
EFI Communities	https://communities.efi.com/
Fiery Command WorkStationサポート資料	http://help.efi.com/cwspackage/index.html